

学校運営協議会と学園教育推進会議を開催しました 2月20日

コミュニティスクールの取組が今後一層加速化していきます。地域あつての学校、学校あつての地域です。全国各地で「適正規模化」の波が押し寄せ、学校の統廃合が進んでいます。急激な少子化で、学校は減らされる一方です。教員不足を嘆く中、私たちの足元は不安が多くあります。その不安に打ち勝っていくのがコミュニティスクールです。

はじめに学校運営協議会の委員さんへ学校評価のまとめを報告し、来年度への改善点等を説明しました。その後授業を見ていただきました。

続いて中学校、保育所と一緒に学園教育推進会議を行いました。地域との連携がいかにかを痛感する会となりました。各委員の皆様、一年間本当にありがとうございます。来年度も何卒よろしく願いいたします。



自ら健康を守ろう 校医先生による健康教室を行いました



6年生を対象として、1月30日、薬剤師の森山猛先生に「薬物乱用防止教室」で講話をいただきました。疾病で服用する薬やそのしくみについて、実験も交えながら大変わかりやすく解説していただきました。オーバードーズなどが問題視される中、子どもたちにとって大変タイムリーで実生活に直接かかわる大切な内容でした。

2月7日には、野津立秋先生に「喫煙防止教室」で講話をいただきました。ニコチンやタールが体に及ぼす影響を、豊富な映像とともにわかりやすいお話で説明してくださいました。ニコチンに座ってもらう席をわざわざ作る愚

かさ、たった一本吸うことによってニコチン依存が継続してしまうこと、受動喫煙の恐ろしさ等を子どもたちはしっかりと受け止めていました。

今回のように内科や薬剤師の先生から直接ご指導いただくことは、子どもたちにとって自らの健康を守ろうとする姿勢を支えていくうえで大変有効です。ご家庭におかれましても、健康の保持や増進に関する話題をご家族で話されるとよいと思います。以下、児童の感想です。

薬を飲む時はお茶で飲んでいたので、これからは水で飲むようにします。決められた量以上飲んだら副作用が現れて、少ないと薬の効き目が現れないので、決められた量を飲むようにします。ぼくも薬剤師になりたいです。

薬には良いところも悪いところもあることが分かりました。そして、何気なく飲んでた薬にも、正しい飲み方があること、どうやったら効き目が出るかといった決まりがあることを初めて知り、とても驚きました。お茶と薬の相性の実験は、「こんなにも変わるんだ」と思い、もっと知りたくなりました。薬には良い効き目がある一方、悪い使い方をする人達もいるので騙されないようにします。万一騙されてしまったら、すぐに相談するようにしたいです。

新入生保護者説明会を開催しました 2月15日(木)

令和6年度の本校新入学児童は現在5名の予定です。毎年この時期に、新入生の保護者の方への説明会を行っています。様々な説明を、辛抱強く真剣に聞いてくださってありがとうございました。自分のことは自分でできるようになっていきたいと思いますという話をさせてもらいました。

ご入学まで1カ月ちょっとです。ご覧のように「物入り」です。学用品への記名もありますし、何種類か袋の製作もお願いしています。何卒よろしくお願いたします。



地震発生を想定した避難訓練をおこないました1月29日

能登半島地震でスタートした令和6年も、2月が閉じようとしています。そんな中、学校での授業中に、地震が発生するという想定で避難訓練を行いました。

2000年10月6日の鳥取県西部地震、2016年10月21日の鳥取県中部地震、これらは子どもたちが学校にいる最中に発生し、一部の学校では引き渡しも行いました。松江市は低地が多いので揺れやすいです。



当日の子どもたちは、まず机の下に身を隠す一次避難を上手に行っていました。大人は案外、体の入るところがなくて慌てます。教頭の指示で今回は体育館へ二次避難しましたが、真剣そのものでした。能登地方であれだけ家屋がぐしゃっと倒壊している映像を見たせいでしょうか。避難時に緊張感が高まっていました。

また、地震で物が落下・散乱する様子をイメージしてほしくて、廊下をちょっと演出してみました。

ご家庭におかれましても、家具を固定したり、食料や水の備蓄をしたりして、積極的に備えをおすすめください。備えをしておけばよかったと後悔した話をよく耳にします。そのようなことのないよう、隣近所とも連携をとって取り組まれてはいかがでしょうか。今一度、地域を挙げて、自助、共助、公助について考えていかねばなりません。

多額のご厚志をありがとうございました ～能登半島地震義援金～

1月はじめから1月末まで、義援金をお願いしておりました。たくさんの皆様にご協力いただいたおかげで49,086円となりました。2月6日に松江市役所担当部署へ寄託しました。児童の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。